

第6回 岡谷市行政改革審議会 会議録

以下のとおり、会議の内容について報告いたします。

-
- 会議名 令和5年度 第6回 岡谷市行政改革審議会
 - 日時 令和6年1月17日(水) 午後1時10分～午後2時00分
 - 場所 庁舎6階605会議室
 - 出席者 委員 内海 一嘉 委員 奥原 一由 委員 小坂 一史 委員
木村 和彦 委員 下島 一徳 委員 濱 輝美 委員
御子柴文夫 委員 宮坂真由美 委員 宮坂 勇 委員
吉池みさ子 委員
事務局 企画政策部長:岡本 典幸 企画課長:仲田 健二
主幹:花岡 潤 主査:林 綾子
 - 欠席者 小口 敬子 委員 佐藤 一樹 委員 五味 和也 委員
 - 配布資料 第6回岡谷市行政改革審議会 次第
岡谷市の人口推計(差し替えページのみ抜粋)
第2次岡谷市行財政改革プログラム 答申書(案)
-

●会議内容

1 開会、岡谷市民憲章 唱和、答申書の内容確認

仲田課長 本日は、大変ご多用の中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。
それでは、会に先立ちまして、市民憲章を唱和いたしますので、みなさんご起立ください。

《市民憲章唱和》

仲田課長 ご着席ください。
それでは、ただいまから第6回岡谷市行政改革審議会を開催いたします。
本日は小口委員と佐藤委員、五味委員が欠席となっております。
本日は、前回審議をしていただきました「第2次岡谷市行財政改革プログラム」の答申書(案)についての最終確認を予定しております。
議事進行につきましては、小坂会長の方でお願いしたいと思います。
それでは、小坂会長挨拶を兼ねまして、よろしく願いいたします。

小坂会長 ～ 会長 あいさつ ～
【答申書の内容確認】
それでは、議事に入ります。
本日は、これまで審議してまいりました第2次岡谷市行財政改革プログラム(案)につきまして、市長への答申を予定しております。

前回の審議会で答申書（案）について審議いただき、特段修正点はございませんでしたが、改めて事務局の方で説明があればお願いいたします。

花岡主幹 はい。それではよろしくをお願いいたします。

《第2次岡谷市行財政改革プログラム（案）答申書について》

まずはじめに、行革プログラムの説明のなかで保留としておりました「人口構造の見通し」についてでございますが、（お手元に資料として配布）内容につきまして年末に委員の皆さまへ送付させていただいているところでありますが、先月の12月22日に国立社会保障・人口問題研究所によります公表内容に基づきまして、修正をさせていただいた内容となっております。内容につきましてはそれぞれご覧いただいているかと思いますが、改めてご説明させていただきます。

プログラムの大きな2番の（1）の部分になります人口構造の見通しです。岡谷市の人口は令和5年4月1日現在で46,262人となり、令和2年の47,790人と比較して、3年間で1,528人の減少となっております。また、ピーク時である昭和55年の62,210人と比較すると約16,000人減少しております。

下の表「岡谷市の人口推計」をご覧くださいますと、岡谷市の人口推計をグラフでお示ししてあります。2020年は実績値。2025年から2050年までが新たな推計値となっております。棒グラフを見ていただきますと、年少人口、生産年齢人口、高齢者人口で内訳をお示ししてありまして、折れ線グラフは高齢化率をお示ししています。こちらをご覧くださいますと基本的には今後も減少が続いていくという状況の中で、2050年、各人口の積み上げで31,505人、高齢化率は43.6%となり、約2.2人に1人が高齢者となることを見込まれております。

現在のプログラムでお示ししております平成30年の推計と比較しますと、若干ではあります人口減少のスピードは鈍化しております。

説明内容は以上であります。郵送にてご確認いただくなかで特段ご意見等はいただいております。

続きまして、「答申書」の案でございますが、前回の審議会で内容につきましてご説明させていただきました。

前回ご指摘をいただきました、答申書2ページ（1総体的事項6行目）に記載のあります「協働」の扱いにつきましては、「同じ目的のために協力して共に活動する」として確認しましたので特段修正はなしとしております。

この他ご意見等はございませんでしたので、原案のとおり答申書として最終のご確認をお願いできればと思います。

事務局からは以上です。よろしくをお願いいたします。

小坂会長 ありがとうございます。

それでは、ご意見のある方はお願いします。

小坂会長　　すみません、分かればの話で結構なんですけど、人口推計の中で65歳以上が高齢者と推計されていますが、現時点ですと社会制度として定年制度が70歳定年に近づいてまいりますし、労働人口として捉えるとかなり高齢者側に深く年齢があがっていくと思いますが、当然、年金の制度も変わってくると思いますが、そういったものを加味した労働生産人口を集計するってものはあるのでしょうか。

花岡主幹　　基本的にはそれぞれの年齢の区分で集計が出ていますので、例えば数字自体を集計することは可能だと思いますが、現段階で、国の方では高齢者は65歳ということですので、いったんこのような形の見せ方にはなっていますが、会長さんがおっしゃったように、社会構造の変化や社会保障制度が変わってくれば、国の方針に準じた見せ方にはなってくると思いますけど。今現在はこのような形でお願いしたいと思います。

小坂会長　　そのほか、ご意見ある方はいらっしゃいますか。よろしいでしょうか。ご意見等なければ、審議会としてこの内容で市長に答申したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

小坂会長　　ありがとうございます。それでは、この内容で市長に報告したいと思います。進行を事務局にお返しいたします。

仲田課長　　小坂会長ありがとうございました。それでは1時30分から答申を行いたいと思います。報道が入りますので時間通りとさせていただきたいと思います。なお、答申後短時間ではありますが市長との懇談を予定しております。本日出席の委員の皆様には、おひとりずつ感想ですとか、今後の市の行財政改革に望むことなどお話いただければと思います。それでは約10分程度休憩してお待ちください。

2 答申

【早出市長入室】

仲田課長　　それでは審議会を再開いたします。
ただいまから第2次岡谷市行財政改革プログラムに関わる答申を行います。小坂会長、早出市長は議長席の前へお進みください。

<答申>

- 仲田課長 ありがとうございました。
小坂会長、早出市長は席へお戻り下さい。
それでは、早出市長からごあいさつを申し上げます。
- 早出市長 委員の皆様には、日頃より本市の行政運営にご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。
また、「第2次岡谷市行財政改革プログラム」の諮問に関しまして、慎重なご審議をいただき、貴重なご意見、ご提言を賜りましたことに、厚く御礼を申し上げます。
さて、令和6年度より第5次岡谷市総合計画 後期基本計画がスタートとなります。今後も厳しい財政状況が見込まれますが、只今の答申内容を踏まえながら、本プログラムを着実に実行し、持続可能な行財政運営の構築に努めるとともに、未来へ繋がるまちづくりを推進してまいりたいと考えております。
皆様には、引き続き、岡谷市の行財政改革に対しまして、ご意見等をいただくとともに、特段のお力添えを賜りますようお願い申し上げ、答申のお礼とさせていただきます。
誠にありがとうございました。
- 仲田課長 ありがとうございました。
それではせっかくの機会でありますので、市長との懇談をお願いしたいと思います。委員の皆さんには、今回のプログラムの審議を通じての感想ですとか、今後の岡谷市の行財政改革に望むことなど、一言ずつお願いできればと思います。
- 委員 ・ 連合壮年会の代表として出席
 ・ 分からないことばかりでご迷惑をおかけしたが、皆様のおかげで色々勉強させてもらった。
 ・ プログラム内で気になった点は、目標が努力目標なのか必達目標なのか分かりにくい。努力目標ならいつまでにこれくらい進むといいなみたいなビジョンが分かればいいのかと感じた。
- 委員 ・ 連合壮年会から参加して、3期目。
 ・ 私たちが思っている以上に人口減少が進んでいる
 ・ 施設やインフラの維持が大変だと感じている。かといって簡単に人口減少を止められるものでもない。
 ・ これからいろんな施策を進めていくわけだが、決断したものについてはおもしろきってやっていただきたい。妥協することなく。
- 委員 ・ 人口減少が一番問題。
 ・ 市の職員も減っていく中で、どうやって効率化を目指していくのかということで、DXについて質問をさせていただいた。

- ・ぜひ、効率化を目指していただきたい。
- ・基本的な考え方の中に大規模災害がある。財源の確保が少しずつ増えていることは数字としては分かる。それをどのように活用していくのか、災害が起きてみないと分からない部分もある。そのあたりでしっかりとしたBCPの計画を策定していただき実行できるか。ライフラインがしっかり整っているのかなど踏まえながら、財源を使っていたら。
- ・行政書士という仕事をやっているの、災害が起きたときに、罹災証明の発行などのお手伝いができると思っている。支援など一緒にやっていきたい。

委員

- ・人口減少、街中の賑わいの喪失。これからの課題である。
- ・高校再編。岡谷南高校と東高校。岡谷工業高校と諏訪実業
岡谷市にとってはとてもいいことになるのでは。
学生が町にあふれる。昼間に限られるかもしれないが、町の中がにぎわう可能性がある。
- ・新しくできる高校が岡谷市にとってプラスになる部分がたくさん含まれていると思う。
県から高校再編の話がある場合は、ぜひ岡谷市がプラスになるような方向にもって行く形で進めてほしい。

委員

- ・審議会に参加させていただき、色々なことを勉強することができました。
- ・市役所の皆さんが市民のために細かい配慮をしてくださっていることに感謝している。
- ・学生時代を東京で過ごし数年働いて、岡谷市に戻ったが街の雰囲気は堅苦しいのに息詰まりがした。
- ・若い人が充実した時間を過ごせるような、いきいきと働けるような町を目指してもらえたらと思います。

委員

- ・答申書を見ますと、素晴らしいスタッフが岡谷市にはそろっているなと感じた。
 - ・広域合併を3回失敗している。
 - ・反対する人の気持ちを聞いてあげなければいけない。合併しないとやっていけないだろうなという付帯付きでの話でした。
- 今回の答申では、広域合併が必要であるかどうかとの捉え方は、さほどされていませんが、非常に大変な時期に来ているということは共通に理解されていると思いますので、大変な時期に市長を受けていただいたというだけで感謝し尊敬している。

委員

- ・区長会代表として審議会に参加
- ・市民ニーズに応える人づくり。特に市の職員は人件費削減、経費削減でずっと職員の定数が減ってきたと感じている。物件費と人件費、事業費など分け方があがるが、人が成し得なければならぬ事業というもの、人件費という考え方では

なくて事業費として受け取ってもらって結構だと申し上げた。

- ・人件費そのものが事業費にあたると、職員の人材育成については本命をお願いしたい。

- ・人口減少、非常に危惧している。Z世代18歳～25歳。結婚はしない、子どもを育てる気はない。区の方も人材不足、役員のなり手が非常に少ない。色々な組織の維持運営について難儀をしている。施策に活かしてもらいたい。

- ・能登半島震災。ライフラインが壊滅的な打撃を受けている。特に水道下水道事業は全国的に一番弱い部分だとかねてから言われている。

岡谷市では多額の費用を投資して、配水池を作り、電気がとまっても自然流下で末端まで送るなど先駆的な取り組みをされている。今回の震災等参考にさせていただき、

ライフラインの確保、災害が起きても困らないように力を注いでもらいたい。

- ・人的支援ができる点、立派だと思う。

- ・区政あずかっている中で多々問題はあがあるが、特に人というものは非常に大切だと切に感じている。

委員

- ・保育の現場で働いている。

- ・保育士がやりがいをもって、長く働ける環境を作っていただきたい。

- ・保護者の経済的な負担以上に、お母さん1人にのしかかる育児の負担を軽減する施策。父親が必ず育児休暇を義務として取得するとか、ヘルプの声をどこでもあげられるような、また声を吸い取れるような場所をたくさん作ってほしい。ぜひ施策として進めていただきたい。それは、行政からだけではなく現場で働く保育士や保護者の三者がそろって進めていくのが理想、ぜひそういった機会をつくってほしい。

委員

- ・限られた財源を有効に生かすことは必要なことで分かっているが、効率化も話が出されたが、人でなければできない仕事もある。効率化も大事だが、人の部分も大事にしてほしい。

- ・岡谷市マイナスのイメージ聞くと、プラスのいいところもたくさんあるので、アピールを沢山発信してほしい。

- ・市が集めている委員会以外の会合などで出される意見の拾い上げ。多くの市民の中から意見を拾い上げていくことも大事かなと。ぜひ工夫を。

委員

- ・答申の結果を確実なものにするために、結果を細かい頻度で進捗管理をし、最終的に目標が達成できるように取り組んでいただきたい。

- ・岡谷市の魅力って何？ 岡谷市から市外に出た人に岡谷市の魅力についてアンケートをとって、市政にフィードバックする。

- ・市民自身が考える岡谷市のいいところ。広く意見を求めてみたらどうか。

今後の市の発展のため、違った視点で見えてみるのはどうか。

早出市長　　今いただいたご意見・ご提言、しっかりと受け止め今後も行財政改革を担っていききたいと思います。

長い期間、プログラムの審査をしていただき誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

(市長退席)

仲田課長　　懇談、ありがとうございました。続いて次第3のその他になりますが、委員の皆様より何かございますでしょうか。

小坂会長　　今回の答申ですけれども、市議会等を経て市民に公開されるのかなと思いますが、市報、ホームページ等通じて、いつ頃出されるか、もし日程が分かれば教えてください。

花岡主幹　　細かい日程的なものはお示しできませんが、この答申を受けて庁内の方で最終決定をします。そのあと、議会の方には報告をしていきますので、そのタイミングでホームページ等にアップする予定でいますので、3月頃には周知していきます。

仲田課長　　その他にありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。
それでは、以上をもちまして、第6回岡谷市行政改革審議会を終了いたします。
お疲れ様でした。